

第 1 期から第 5 期までの川口地域委員会の主要議題、検討事項

第 1 期（平成 22 年度）

- ふるさと創生基金事業の審議・選定【詳細は資料 2-1 P2 による。以下同じ。】
- 地域コミュニティ事業の審査【詳細は資料 2-1 P3 による。以下同じ。】

第 2 期（平成 23～24 年度）

- ふるさと創生基金事業の審議・選定
- 地域コミュニティ事業の審査
- 分科会設置（平成 23 年度：委員 7 名）【詳細は資料 2-1 P6】
- 川口コミュニティ施設分科会（JR 共生施設について）

第 3 期（平成 25～26 年度）

- ふるさと創生基金事業の審議・選定
- 地域コミュニティ事業の審査
- 分科会設置（平成 25 年度：地域委員全員参加（14 名）の分科会）
- 川口地域のコミュニティについて【詳細は資料 2-1 P12】

「川口地域コミュニティ検討委員会」の発足へ

分科会設置（平成 26 年度）

第 1 分科会（委員 7 名）【詳細は資料 2-1 P18】

- ・地域の宝の掘り起こしと磨き上げ（活用）方策の検討

「ふるさとの森」「魚野川と信濃川の河川空間」「天神ばやし」の 3 つの宝を提案（地域委員会で決定）

第 2 分科会（委員 7 名）【詳細は資料 2-1 P22】

- ・少子化・人口減少対策について検討

検討した「結婚するまでの支援」が第 4 期の第 1 分科会に、「結婚してからの支援」が第 2 分科会で更に検討を行った。

第4期（平成27～28年度）

ふるさと創生基金事業の審議・選定

分科会設置

第1分科会（委員6名）（ふるさと創生基金事業実行委員会へ参加）

・婚活支援事業について

第2分科会（委員6名）【詳細は資料 2-1 P24・P28】

・若い人たちが安心して子どもを産み、育てられる環境とは？

「川口地域の子育てに関する要望書」を市に提出

第5期（平成29～30年度）

ふるさと創生基金事業の審議・選定

地域の宝かるた事業について（平成30年度）

平成29年度の地域委員の発意により、平成30年度に『越後長岡地域の宝かるた』を製作し、自らの地域のみならず、他地域の宝も合わせて長岡全体の宝として認識してもらうことで、次世代への継承を図っていくことを目的に製作されました。

川口地域は、かるた50音の内「く」「さ」「ぬ」「れ」の4音が割り当てられ、川口小学校6年生へ川口の3つの宝を題材とした読み句と絵札の作成を依頼し、読み句177句、絵札90枚の中から地域委員会で地域の宝にふさわしいかるたを選定したものを。

分科会設置

第1分科会（委員6名）

平成29年度（ふるさと創生基金事業実行委員会へ参加）

・婚活支援事業について（3年目）

平成30年度

・交流人口増加に向けた地域資源の活用【詳細は資料 2-1 P39】

第2分科会（委員6名）【詳細は資料 2-1 P34】

・川口地域のまちづくりにおける公共施設のあり方

川口地域に係る主な各種計画等の協議

都市計画マスタープランの地域別構想について（平成 22 年度）

市の都市計画マスタープラン(今後 10 年間の土地の使い方や、道路・公園・下水道などの整備に関する基本的な方針を定めるもの)における、地域別構想についての検討結果の説明があり、それに対し意見を述べた。

長岡市都市景観基本計画について（平成 22 年度）

市の優れた都市景観を「守る」「育てる」「つくる」ために定めた長岡市都市景観基本計画に、川口地域の景観特徴をおりこむことの説明があり、それに対し意見を述べたもの。

川口地域バスについて（平成 24 年度）

平成 25 年度から NP0 暮らしサポート越後川口が川口地域バス(黄色いバス)を運行するための手続きを進めるにあたり、運行時間や運行ルートについての案が説明され、それに対し意見を述べた。

他地域委員との交流会

平成 26 年度 三島地域視察及び地域委員会交流

平成 27 年度 小国地域視察及び地域委員会交流

平成 28 年度 和島地域視察及び地域委員会交流

平成 29 年度 与板地域視察及び地域委員会交流

平成 30 年度 寺泊地域視察及び地域委員会交流